

2017年8月21日

報道関係各位
プレスリリース

ニュースを読み解く技術 「ポスト真実」時代のリテラシー

イギリスのEU離脱を巡る国民投票や、米国の大統領選挙など、「不正確な情報に基づいた宣伝や、人々の感情を煽り立てるようなデマが政治で決定的な力を持ったこと」を踏まえ、「オックスフォード英語辞典」は「post-truth（ポスト真実）」を2016年の言葉として選定しました。そんな客観的事実よりも感情的な訴え・信条が世論形成に大きく影響し、また真実の追求を目指してきた既存メディアが発信する事実よりも、SNSを始めとしたインターネットの影響力が強まった「ポスト真実」時代において、私たちはどの様にして真実を捉えれば良いのでしょうか。

ニュースでよく見る「～の方向で検討に入った」と「～に向けて最終調整に入った」という表現の違いでは一見どちらも「～することがほぼ決まった」という意味に捉えられがちですが、原稿を書いている記者たちは、実は状況によって使い分けています。ニュースのどこに注目すれば「真実」が見えてくるのか――。本講座ではネットに溢れる「フェイクニュース」に騙されないためには何に気をつければいいのか――。日本経済新聞の元記者が、新聞、テレビ、ネットのニュースを10倍活用できるようになる技術を、わかりやすく解説します。

講師 松林 薫（株式会社報道イノベーション研究所代表取締役）

1973年、広島市生まれ。ジャーナリスト。京都大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科修了。1999年、日本経済新聞社に入社し、経済解説部、経済部、大阪経済部、経済金融部で経済学、金融・証券、社会保障、エネルギー、財界などを担当。2014年10月退社し、同年11月に株式会社報道イノベーション研究所を設立。2016年4月から関西大学総合情報学部特任教授（ネットジャーナリズム論）。著書に『新聞の正しい読み方』（NTT出版）、『「ポスト真実」時代のネットニュースの読み方』（晶文社）がある。



開催概要

- 日時：2017年9月21日（木）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1000円
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて、
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉 千代田区立図書館 広報室

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341